

『復刻・幼児の教育』〈大正・昭和篇〉

〔趣旨〕

『幼児の教育誌』は、明治三十四年『婦人と子ども』と題されて創刊されて以来、今日に至る迄八十年の長きに亘り、わが国幼児保育の発展と歩みを共にして来た。この間、幾多の先駆的保育理論、実践研究発表等が誌上を飾り、わが国の幼児教育の発展に測り知れない寄与を成して来た。現在まで継続する幼児教育専門誌として、わが国最長であるのみならず、雑誌出版史上、極めて稀有な例を示している。

本書は、昨年刊行の『復刻・幼児の教育』（第一期・明治三十四年～大正九年）に続き、大正十年～昭和十九年の二十四年分、二十四巻を、一挙に復刻刊行するものである。大正・昭和期はわが国幼児保育が日進月歩の高進を示し、時代背景もめまぐるしい変貌を遂げた時期にあたる。

わが国の幼児教育の進歩の様相を概観する好個の原資料として、また先達の抱負や熱意の結晶する稀有な文献として、

現代保育を考える人々に資することを念願する。

〔体裁・内容〕

全二三巻、別冊著者別索引

〈第二一巻～第四四巻〉大正十年～昭和十九年

『幼児教育』（第二三巻第八号まで）

『幼児の教育』（第二三巻第九号以降）

〔刊行〕

名著刊行会

〔定価〕

現金価格二二五、〇〇〇円

〔申込・問合わせ先〕

総発売元・株式会社コーディック

東京事務所 千代田区神田神保町三二二五 精和ビル

TEL (〇三) 二九五―三五六一

大阪本社 大阪市西区北堀江三一六―二三

TEL (〇六) 五三一―九八〇一